

## ギンヤンマ



交尾中のペア(上がオスで下がメス いずれも成熟した個体)

【体長】 74～82mm

【特徴】 胸は緑色で腹は茶色っぽい色をしたヤンマです。腹のつけ根は、オスは青色でメスでは緑色をしています。メスはまれにオスのように腹のつけ根が青いものもあります。

【見られる場所】 レンコン田、田んぼ、ビオトープ、水路など、いろいろな水辺で見られます。産卵はオスとメスがつながった状態で、水面や水辺にある植物につかまって卵を産みます(メスが単独で産む場合もあります)。

【見られる時期】 5～10月頃

【名前の由来】 「銀ヤンマ」の意味。腹のつけ根の一部が銀白色をしていることから「銀ヤンマ」と名付けられました。

## クロスジギンヤンマ



休止するオス(成熟した個体) ※右下の写真は産卵中のメス(成熟した個体)

【体長】 71～81mm

【特徴】 ギンヤンマに似ていますが、胸に2本の太い黒い筋がみられ、オスはギンヤンマに比べ青っぽい色をしています。メスは緑っぽい色をしています。

【見られる場所】 ギンヤンマに比べ、木のかげなどの、ややうす暗い水辺を好みます。メスは単独で水面や水辺にある植物につかまって卵を産みます。

【見られる時期】 4～6月頃

【名前の由来】 胸に「黒い筋があるギンヤンマ」の意味